

令和2(2020)年共同研究評価対象一覧表(年次点検)

領域	代表者	職名	共同研究課題	開始年月	終了年月
重点	大塚英志	教授	「運動」としての大衆文化	2017年4月	2021年3月
重点	大橋直義 呉座勇一	客員准教授 助教	応永・永享期文化論―「北山文化」「東山文化」という大衆的歴史観のはざままで―	2018年7月	2022年3月
重点	アリスティア・スウェール	外国人研究員	大衆文化と文明開化：幕末から明治への激動期における大衆メディアの位置及び役割	2019年7月	2021年1月
重点	劉建輝	教授	近代東アジア文化史の再構築Ⅰ―19世紀の百年間を中心に	2020年4月	2023年3月
重点	牛村圭	教授	文明としてのスポーツ／文化としてのスポーツ	2020年4月	2023年3月
国際	安井眞奈美 ローレンス・マルソー	教授 海外共同研究員	身体イメージの想像と展開―医療・美術・民間信仰の狭間で	2018年4月	2022年3月
国際	廖欽彬	外国人研究員	東アジアにおける哲学の生成と展開―間文化の視点から	2019年8月	2021年3月
国際	蘭信三 松田利彦	共同研究員 教授	帝国のはざまを生きる―帝国日本と東アジアにおける移民・旅行と文化表象	2019年4月	2021年3月
国際	稲賀繁美	教授	蜘蛛の巣上の無明：電子情報網生態系下の身心知の将来	2020年4月	2022年3月
国際	吉村美香 榎本涉	客員准教授 准教授	巫俗と占術の現在―東アジア世界の民間信仰の伝播と展開	2020年4月	2021年3月
基幹	劉建輝 齋藤光	教授 共同研究員	近代東アジアの風俗史	2017年4月	2021年3月
基幹	マルクス・リュッターマン	教授	「かのように」という原理で形成してきた文通―「文書」概念や、その様式、記号、表象、意図性	2018年4月	2022年3月
基幹	山田奨治	教授	縮小社会の文化創造：個・ネットワーク・資本・制度の観点から	2018年4月	2022年3月
基幹	坪井秀人 宇野田尚哉	教授 共同研究員	戦後日本の傷跡	2020年4月	2022年3月
基幹	瀧井一博	教授	日本型教育の文明史的位相	2020年4月	2023年3月
基幹	倉本一宏	教授	貴族とは何か、武士とは何か	2020年4月	2023年3月

令和2(2020)年度共同研究評価対象一覧表(終了時評価)

代表者	職名(実施時)	共同研究課題	開始年月	終了年月	成果出版(書名)	出版社	出版年月
松井茂 坪井秀人	客員准教授 教授	マス・メディアの中の芸術家像	2019年4月	2020年3月	①虚像培養芸術論 アートとテレビジョンの想像力 松井茂＝著(総頁309p) ②現代思想2020年3月臨時増刊号 第48巻第3号 総特集＊磯崎新 松井茂＝監修(総頁405p) ③情報科学芸術大学院大学紀要 第11巻 2019年(p.169-175) ④現代詩手帖2020年5月号 第63巻第5号 特別掲載「湾岸戦争詩論争とは何だったのか」(p.64-87)	①株式会社フィルムアート社 ②青土社 ③情報科学芸術大学院大学 ④思潮社	①2021年3月 ②2020年2月 ③2020年3月 ④2020年5月
佐野真由子	准教授	万国博覧会と人間の歴史	2016年4月	2019年3月	万博学：万国博覧会という、世界を把握する方法	思文閣出版	2020年8月
真鍋昌賢	客員教授	浪花節の生成と展開についての学際的研究	2016年4月	2017年3月	浪花節の生成と展開：語り芸の動態史にむけて	せりか書房	2020年9月
瀧井一博	教授	明治日本の比較文明史的考察—その遺産の再考—	2015年4月	2019年3月	「明治」という遺産：近代日本をめぐる比較文明史	ミネルヴァ書房	2020年10月
荒木浩	教授	投企する古典性—視覚／大衆／現代	2016年4月	2020年3月	古典の未来学：Projecting Classicism	文学通信	2020年10月